

皇后杯とも3位に輝く 季国体終る



▲開会式でおことばを述べられる皇太子殿下

ご協力に感謝

第二十七回冬季国体スケート競技会は、栃木県が男女総合（天皇杯）三位、女子総合（皇后杯）三位という、輝かしい活躍をみせて終了しました。

スポーツの祭典は、次代をになう若者の祭典でもあります。スポーツを通して、若者たちの心とからだを鍛えることは、日本の将来に大きな夢と希望を託すことに、ほかなりません。

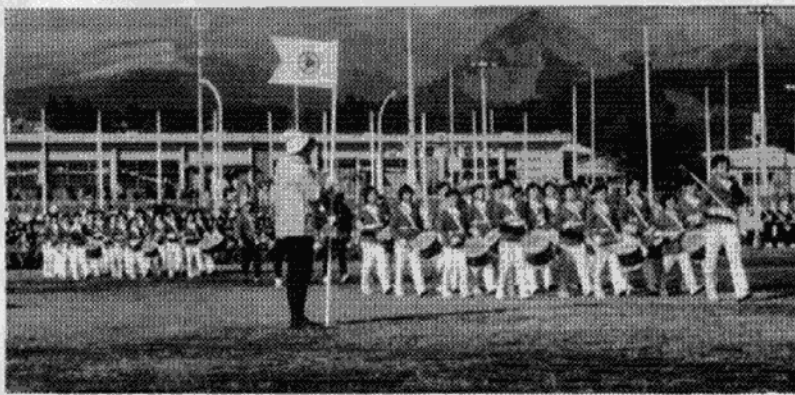
今大会が、多くのかたがたのご努力とご協力を得て、成功の

うちに終ることができました。とはスケートの名門「日光」の名を、更に全国に広めることができました。ここに心から感謝の意を表する次第です。

日光市の未来を、若々しく、輝かしいものにするためにも、今後もスポーツの底辺拡大に力を注いで行く所存です。

市勢発展のために、皆さんの特段のご援助をお願いして、お礼のことばといたします。

日光市長 星野仁十郎

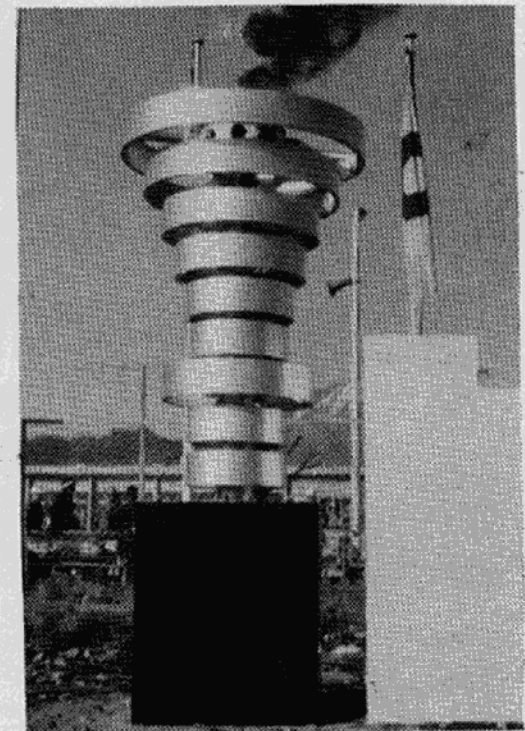


▲開会式を盛り上げた日光小学校の鼓隊

開会式

一月六日、午前十時から所野公園競技場で開かれた開会式は、皇太子ご夫妻のご臨席を仰ぎ、晴れやかに開かれました。

今回の開会式は、オリンピック聖火の登場もさることながら、式の始めと終りを、小学生が受け持ったことが特色で、入場行進を先導した日光小鼓隊、スケートセンターでの小学生千名による滑走には、皇太子ご夫妻も拍手をおくられておりました。



▲五重の塔の「九輪」を形取った聖火台



◀各県団旗に囲まれて選手代表の宣誓を行なう大柿選手（安良沢）

▶聖火トーチを手に開場を走る阿久津真一君（東中3年）

